

平成 27 年度第 2 回 一般社団法人日本生物物理学会 理事会議事録

日時：2015 年 9 月 13 日（日）18:30～19:30

場所：金沢大学角間キャンパス自然科学本館 諸会議室 2

出席者：理事総数 18 名 出席理事 17 名

代表理事（会長） 中村 春木

理事（副会長） 永井 健治

理事 石島 秋彦

理事 大上 雅史

理事 佐甲 靖志

理事 高田 彰二

理事 根岸 瑠美

理事 広瀬 恵子

理事 光武 亜代理

理事（副会長） 高橋 聡

理事 新井 宗仁

理事 内橋 貴之

理事 小松崎 民樹

理事 佐藤 竜馬

理事 中井 孝尚

理事 野地 博行

理事 古谷 祐詞

監事総数 2 名 出席監事 1 名

監事 有坂 文雄

オブザーバー：

邦文誌生物物理編集委員長 原田 慶恵

ホームページ編集委員長 北尾 彰朗

平成 27 年度年会実行委員長 安藤 敏夫

平成 28 年度年会実行委員長 豊島 陽子

平成 29 年度年会実行委員長 山縣 ゆり子

東北支部長 関 安孝

関東支部長 大澤 研二

陪席者：

学会本部事務局 垣内 香里

議長：代表理事（会長） 中村 春木

議事録作成者： 理事 佐藤 竜馬

理事 大上 雅史

**報告および審議事項：**

**報告事項：**

1. 第1回理事会議事録の確認（中村）：報1
2. 平成27年度年会報告（安藤）：報2
3. 平成28年度年会準備状況（豊島）：報3
4. 平成29年度年会準備状況（山縣）：報4
5. 男女共同参画・若手支援委員会報告（高橋）：総会スライド（議3）
6. 賞・助成金推薦委員会報告（永井）：報6
7. 会誌編集委員会報告（原田）：総会スライド（議3）
8. BPPB編集委員会報告（野地）：総会スライド（議3）
9. 他学会との連携状況報告（古谷・高田）：報9
10. 名誉会員推薦規定の修正（中村）：報10

**審議事項：**

1. 英語名称変更案の提案（古谷・高田・永井）：議1
2. 細則変更案の承認（中村）：議2
3. 会長室の運営について（中村）：当日配布
4. 第2回会員総会について（中村）：議4

**議事の経過の要領およびその結果：**

理事会の審議に先立ち、会長より、定足数を満たしており、定款第六章第三十二条の規定により理事会が成立していることが報告された。会長が議長に就き、開会を宣言し審議に入った。

**報告事項：**

1. 第1回理事会議事録の確認（中村）：報1

中村会長から第1回理事会議事録について報告があった。特に問題がないことが確認された。

2. 平成27年度年会報告（安藤）：報2

安藤年会実行委員長から、金沢年会の実施状況について報告があった。参加者総数は1535名（当日参加：315名）、演題登録状況：一般演題902件（口頭：212件、ポスター：690件）、シンポジウム：243件（若手奨励賞招待講演含む）であった。参加者は例年に比べて増加、発表件数は例年と同程度であった。一方、ランチョン：9枠（8企業・1団体）、展示：37小間、予稿集広告：15ページ、年会HPバナー広告：3件、うちわ広告：5件であり、収入合計：約828

万円であった。展示会場では抽選会（2013年より実施）を企画（Android タブレット×3）している。新企画としてキャリア支援説明会を開催した。応募企業：8社、年会初日と二日目に合同説明会を実施（初日はランチ、二日目は軽食を提供）、午後に個別説明会を実施予定。当日はジョイントで開催する企画には多くの方が参加、個別は10名強の方が参加し、急遽企業側の要望により個別説明会ではなく個別面談を行った。

### 3. 平成28年度年会準備状況（豊島）：報3

豊島年会実行委員長から、つくば年会の準備状況の報告があった。会場はつくば国際会議場、講演会場について130名強の方が収容可能な部屋が6つあり、シンポジウム29件を開催予定（若手奨励賞招待講演含む）。収支決算の予定では13,200円の黒字になる見込みである。会期は2016年11月25日（金）～11月27日（日）に決定した。

### 4. 平成29年度年会準備状況（山縣）：報4

山縣年会実行委員長から熊本年会準備状況について報告があった。会場は熊本大学黒髪地区、会期：2017年9月20日（水）～9月22日（金）、懇親会：ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ（収容人数800名程度）で開催する予定である。市民講演会は9月23日（土）に熊本市国際交流会館ホールで行う予定である。

### 5. 男女共同参画・若手支援委員会報告（高橋）：総会スライド（議3）

高橋男女若手委員長から、男女共同参画・若手支援委員会の報告があった。女子中高生夏の学校へ高橋 聡 氏、大上雅史 氏、佐藤竜馬 氏の3名が参加した。開催期間：2015年8月6日（木）～8月8日（土）（生物物理学会は8月7日（金）13:00～17:00のポスター展示・キャリア相談ブースに出展）、会場：国立女性教育会館。2015年10月17日（土）、場所：千葉大学西千葉キャンパスで開催される連絡会シンポジウムに高橋 聡 氏が参加し「国際的な視点から見た男女共同参画の推進」というテーマでポスター発表を行う予定である。若手奨励賞選考においては応募者総数39名（学生6名、外国人5名、女性1名、総数は昨年度より7名増加）であった。年会における男女共同参画・若手支援シンポジウムにおいて「ポストク問題」って言わないで！-任期付き雇用問題の解決を目指して-というテーマでグループディスカッションを開催予定である。

### 6. 賞・助成金推薦委員会報告（永井）：報6

永井副会長から、賞・助成金推薦委員会の報告があった。賞の候補者推薦については学会推薦賞・助成金選考内規に基づいて行った。幅広い分野からの推薦が喚起された。

7. 会誌編集委員会報告（原田）：総会スライド（議 3）

原田会誌編集委員長から、会誌編集委員会の報告があった。「生物物理」誌公開案内メールの内容を変更し、メールにアブストラクトを追加した。55 巻 6 号を 11 月 25 日発行。6 号は 2015 年「光と光技術の国際年」を記念して光特集を組む予定である。タンパク質立体構造散歩を書籍化する予定である。邦文誌「生物物理」刊行費用の比較について、平成 25 年に比べ大幅に費用を削減できた。

8. BPPB 編集委員会報告（野地）：総会スライド（議 3）

石渡 BPPB 編集委員長に代わり、野地欧文誌担当理事が BPPB 編集委員会の報告を行った。BIOPHYSICS から Biophysics and Physicobiology (BPPB) に変更した。平成 27 年度科研費「国際情報発信強化(B)」に採択された。PubMedCentral (PMC) への登載審査中、Impact Factor の取得に向けて取り組みを検討中（2019 年頃申請）である。BPPB 誌の国際情報発信強化のために、国外からの投稿料・掲載料免除のキャンペーンを実施する。第 4 回 Biophysics and Physicobiology 論文賞が下記のように決定した。

Tomohiko Hayashi, Azuma Matsuura, Hiroyuki Sato, Minoru Sakurai

“Full-Quantum chemical calculation of the absorption maximum of bacteriorhodopsin: a comprehensive analysis of the amino acid residues contributing to the opsin shift”

BIOPHYSICS Vol.8 pp. 115-125 (2012)

受賞講演：2015 年 9 月 13 日（日）12:50～13:20 金沢大学角間キャンパス H 会場

林 智彦（京都大学エネルギー理工学研究所）

「全原子量子化学計算により光活性タンパク質の吸収波長制御機構の解析：Analyses of the spectral-tuning mechanisms of several photoactive proteins based on the full-quantum chemical calculations」

受賞式：2015 年 9 月 14 日（月）19:30～21:30 金沢東急ホテル

第 2 回 Biophysics and Physicobiology Editors' Choice Award が下記のように決定した。

Yoichi Yamazaki, Tomoko Nagata, Akihisa Terakita, Hideki Kandori, Yoshinori, Shichida, Yasushi Imamoto

“Mapping of the local environmental changes in proteins by cysteine scanning”

BIOPHYSICS, Vol. 10, pp. 1-7 (2014)

Hideki Itoh, Kotaro Oyama, Madoka, Suzuki, Shin 'ichi Ishiwata

“Microscopic heat pulse-induced calcium dynamics in single WI-38 fibroblasts”

BIOPHYSICS, Vol. 10, pp. 109-119 (2014)

Hiroshi Sunada, Satoshi Takigami, Ken Lukowiak, Manabu Sakakibara

“Electrophysiological characteristics of feeding-related neurons after taste avoidance Pavlovian conditioning in *Lymnaea stagnalis*”

BIOPHYSICS, Vol. 10, pp. 121-133 (2014)

受賞式：2015年9月14日（月）19:30～21:30 金沢東急ホテル

#### 9. 他学会との連携状況報告（古谷・高田）：報 9

古谷渉外担当理事から、他学会との連携状況について報告があった。金沢年會に事前参加登録された非会員についての非会員種別について、事前参加登録済み非会員数：140名（シンポジウム発表者：70名、シンポジウム発表者・物理学会会員：5名、シンポジウム発表者・顕微鏡学会会員：1名、物理学会会員：25名、顕微鏡学会会員：0名、オーストラリア生物物理学会会員：1名、海外研究機関在籍者：8名、いずれにも該当しない：24名、無回答：2名）であった。当日登録では日本物理学会会員2名、顕微鏡学会会員2名、海外研究機関在籍者4名であった。

#### 10. 名誉会員推薦規定の修正（中村）：報 10

中村会長から、名誉会員推薦規定の修正について報告があった。「名誉会員の推薦手続き」から「名誉会員の推薦と決定手続き」に変更、「会長、副会長、理事は」から「理事は」に変更することが確認された。

#### 議題：

##### 1. 英語名称変更案の提案（古谷・高田・永井）：議 1

高田氏より英語名称の変更案について説明があった。細かい表現について意見・提案があったため次回の理事会までに再考し再提出することになった。

##### 2. 細則変更案の承認（中村）：議 2

中村会長より細則の変更案について説明があった。変更案では、理事候補が決まる臨時社員

総会時に会長候補を理事候補とすることができる。このようにすることで定時社員総会の際に手順を省略できる。第 10 条の 3 において変更前「理事会は」から変更後「臨時社員総会にて・・・代議員を選出する」に変更することについて承認された。

### 3. 会長室の運営について（中村）：当日配布

中村会長より会長室の運営について説明があった。学会事務を 4 期にわたり務めてこられた垣内 香里 氏が 9 月 30 日付で事務局を退職されることになった。将来、国内の様々な地域の大学の先生が会長となる可能性を考慮し、現在事務の一部をお願いしている中西印刷（株）に 10 月 1 日から全面的に事務業務を委託するという提案があった。中西印刷に 10 月 1 日から業務委託することが承認された。継続した業務の委託については今後決めていく。

#### 連絡事項：

##### 1. 次回理事会日程について（中村）

平成 27 年度第 3 回 一般社団法人日本生物物理学会 理事会

日時：2015 年 12 月 12 日（土）13:00～17:00

場所：未定

その他の発議を求めたところ、格別なしと認められたので、議長は 19:30 に閉会を宣言して散会した。

上記の議決を明確にするため、定款第六章第三十三条の規定によりこの議事録を作成し、代表理事及び監事が次に記名押印する。

平成 27 年 10 月 15 日

一般社団法人 日本生物物理学会 平成 27 年度第 2 回理事会

代表理事 中 村 春 木 (印)

監事 有 坂 文 雄 (印)